

令和7年度事業報告

放課後等デイサービスえがお

基本方針に対する 達成状況	児童が放課後、休日を安心して過ごす居場所つくりのために児童各自の障害特性を理解して家庭、学校を中心とした関係機関と連携を深めて支援することができた。各専門職職員が自身の知識を用いて児童の最善の利益、健康維持、発達を育成することができた。
重点項目に対する 達成状況	法令順守を徹底する取り組みとして定期的なチェック体制の強化と共に第三者評価を開設後初めて実施した。事業所の取り組んでいる強みや改善する部分が明確になり改善点を解決することが出来た。児童一人ひとりの障害特性を理解して利用児童、職員、保護者、関係機関と共に個別支援計画書を作成して実践を行った。研修では内部、外部を問わず積極的に行いサービスの向上に努めた。地域へのステークホルダーの拡充として近隣保育園へ出向き障害児理解の為の紙芝居を利用して交流し保育園児と共に合唱、パラバルーンを楽しみ絆を深めることが出来た。
稼働目標に対する 達成状況	稼働率は4月84%、5月76%、6月80%、7月89%、8月70%、9月83%、10月83%、11月73%、12月75%、1月75.6%、2月80%、3月91%となり達成月はなかったが3年連続のべ利用者数は上昇した。また、加算を追加し利用単価が上昇した。
予算執行状況	概ね予算書通りに執行することが出来た。12月、1月に他事業所からの応援要請の為、職員不足により加算分の算定できず減額したが、当初予定にない都、区からの「居住支援手当」、「職場環境改善事業補助金」を申請し、加算を算定できたことにより最終的に収支が上回った。
事業およびサービス目標に対する達成状況	児童一人ひとりの発達特性に合わせ5領域をもとに個別支援計画書を児童発達支援管理責任者をはじめとする各専門職が連携して立案、実行することができた。健康管理では医療職を中心的に安全管理・感染症対策を徹底した。療育的支援において保育士、理学療法士がコミュニケーション支援、感覚統合、身体的機能維持、発達を目的にしたリハビリ活動を行い各児童の成長が見られた。社会参加として季節の行事や散歩時の地域交流、「えがおフェスティバル」を開催した。フェスティバルを通じて法人職員が多くボランティアに参加し法人内の繋がりや法人理念を感じる事が出来た。保護者からの要望であった外出支援を昨年より多く取り入れることも出来た。また、第2回目となる「品川区重症心身障害児連絡会」を取り纏め開催し研修、事業所間連携、情報共有を強化した。保護者会では生活介護施設所長殿に参加いただき講和を聞かせていただいた。
その他事業計画に対する達成状況	12月、1月に他事業所からの応援要請の為、職員不足により加算分の算定できず減額した。当初予定にない都、区からの「居住支援手当」、「職場環境改善事業補助金」を申請することが出来た。

月平均稼働

月	定員	稼働目標	稼働実績	備考欄
4月	5名	100人	84人	
5月	5名	100人	76人	
6月	5名	100人	80人	
7月	5名	100人	89人	
8月	5名	110人	77人	
9月	5名	100人	83人	
10月	5名	100人	83人	
11月	5名	100人	73人	
12月	5名	100人	75人	
1月	5名	90人	68人	
2月	5名	90人	72人	
3月	5名	100人	91人	

利用者別の内訳

月	城南（小学部）	品川（小学部）	城南（中等部）	品川（中等部）	城南（高等部）	品川（高等部）			合計
4月	48	36	0	0		0			84
5月	46	30	0	0		0			76
6月	43	37	0	0		0			80
7月	55	34	0	0		0			89
8月	44	33	0	0		0			77
9月	47	36	0	0		0			83
10月	47	36	0	0		0			83
11月	45	28	0	0		0			73
12月	39	36	0	0		0			75
1月	36	32	0	0		0			68
2月	43	29	0	0		0			72
3月	49	42	0	0		0			91

年間行事等の報告

4月	お花見、春休み、新児童慣らし預かり
5月	防災訓練
6月	制作活動、戸外活動
7月	制作活動、戸外活動
8月	夏休み、外出支援、保育園交流
9月	慣らし活動
10月	フェスティバル準備、制作活動
11月	えがおフェスティバル、品川区重症心身障害児連絡会
12月	防災訓練、冬休み、クリスマス会、保護者アンケート実施
1月	冬休み、慣らし活動、保護者会
2月	制作活動、新規利用児童見学、第三者評価
3月	春休み、新規児童受け入れ準備